

科目名	小児科学			授業の種類	講義	講師名	
授業回数	8回	時間数	15時間 (1単位)	配当学年・時期	理学療法士科2年		必修・選択 必修

〔授業の目的・ねらい〕

小児期の疾患についてその予防と治療を中心として論じ、先天性疾患・後天性疾患によるハンディキャップを如何に早期に発見し、治療の効果を上げられるか具体的な例を挙げながら今後学生諸君がそれぞれの職場でそれらの小児と出会った時の為に、手がかりとなるような内容をもった講義にしたいと考えています。

〔授業全体の内容の概要〕

講義中心に進めていきます。

〔講師の実務経験〕

〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕

小児疾患の病態、成因を理解し理論的に説明できるようにする。

回数	講義内容
1	小児科学概論
2	診断と治療の概論
3	新生児・未熟児疾患・先天性・先天代謝異常症・神経・筋・骨系疾患
4	循環器疾患・呼吸器疾患・感染症
5	消化器疾患・内分泌・代謝疾患・血液疾患
6	免疫・アレルギー疾患、膠原病
7	腎・泌尿器系・生殖器疾患 腫瘍性疾患
8	心身症・神経症 重度心身障害児
	定期筆記試験

【 準備学習・時間外学習 】

--

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 小児科学	富田 豊	医学書院

【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】

筆記試験を中心に評価します。